

# 生育と管理

宇佐市農政課 / 大分県北部振興局地域営農・水田活用第一班

令和8年4月号



## ● 麦の栽培管理

HPからも見れます！  
(毎月1日更新)

### ◆ 赤かび病は必ず2回防除！

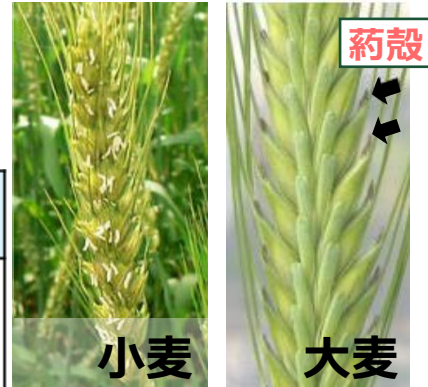
3か月予報では4月は温度が高い予報であり、降雨も予想されます。赤かび病は出穂前後から乳熟期にかけて曇天・小雨が続く、温度が高いと多発します。

#### 【赤かび病のリスク】

- ・ 1粒でも混入すると規格外となり、出荷できない
- ・ 収量や品質の低下

### ★ 2回の薬剤防除を基幹防除として必ず実施

#### 【1回目防除適期】



※引用元：麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル[(独)農業・食品産業技術総合研究機構赤かび病研究チーム]

#### 【赤かび病防除適期】

	1回目の防除	2回目の防除
小麦	開花最盛期（出穂期後7～10日）	1回目防除の 7～10日後
二条大麦	穂揃期の10日後（出穂期後12～14日） ※薬殻抽出期	
裸麦	開花最盛期（出穂期後5～7日）	

#### 【赤かび病防除薬剤の例】

薬剤名	使用時期	散布量・倍率	使用回数
トップジンM水和剤	小麦：収穫14日前まで 大麦・裸麦： <b>収穫30日前まで</b>	60～150L/10a (1,000～1,500倍)	小麦：出穂期以降は2回以内 大麦・裸麦：出穂期以降は1回以内
ミラピスフロアブル	小麦 収穫7日前まで	50～150L/10a (1,500～2,000倍)	2回以内
	大麦・裸麦 収穫14日前まで	60～150L/10a (1,500～2,000倍)	2回以内
ワークアップフロアブル	小麦：収穫7日前まで 大麦・裸麦：収穫7日前まで	60～150L/10a (2,000～3,000倍)	3回以内
チルト乳剤25	小麦：収穫3日前まで 大麦・裸麦： <b>収穫21日前まで</b>	60～150L/10a (1,000～2,000倍)	小麦：3回以内 大麦・裸麦：1回

※ 薬剤散布後30分たてば降雨があっても効果があります。**降雨の合間でも「適期」散布**を優先してください。

※ **発病が多い場合は追加（3回目）防除**もご検討ください。

### ◆ タデ類の多発に注意！

令和7年産ではタデ類の発生が多く、圃場がピンク色に染まる例も見られました。圃場に残った種子は翌年の発生源となり、来年の栽培にも影響します。被害を広げないためにも、早めの対処を心がけましょう。

	適用雑草	使用時期	散布量	散布方法
アクチノールB乳剤	一年生広葉雑草 (ヤエムグラ、 <b>タデ類</b> 、スズメノテッポウ) ※雑草生育初期	穂ばらみ期 まで ※使用回数：2回	100～200mL/10a (水70～100L)	雑草茎葉散布 または 全面散布

## ◆はるみずき生産者の方へ

パン用小麦「はるみずき」はタンパク質含有量を上げるため、  
穂揃期～開花期（4月上中旬頃）に必ず実肥を施肥しましょう

パン用小麦タンパク質含有量目標：13.0%～14.0%

※穂肥・実肥はタンパク質向上に大きく影響しますので、必ず施用しましょう。

窒素施用量 基肥 5 - 分げつ肥 2 - 穂肥 5 - 実肥 6 kg/10a

【実肥の散布方法（例）】 ※①か②の散布しやすい方法を選択

- ①赤かび病防除と同時に尿素6kg/水100L・10aを2回散布
- ②硫安30kg散布（背負散布機、ドローン等）

穂揃期～開花期  
4月上中旬頃

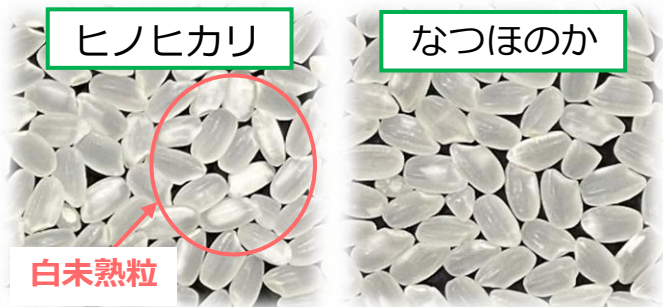
## ●R8年度水稲の準備

### ◆ 高温に応じた品種の選定

近年の夏の高温により、ヒノヒカリで白未熟粒の発生が増え品質が低下しています。今後の安定生産に向けて高温に強い品種への見直しを検討してみませんか？

### 「なつほのか」の特徴

- 令和4年から導入された**高温耐性品種**：高温でも**品質を保ちやすい**
- 大粒でくず米が少ない：**収量の向上**が期待できる



令和7年産宇佐市米の検査実績(等級別割合)

品種	1等	2等	3等
なつほのか	70%	30%	0%
ヒノヒカリ	2%	41%	56%

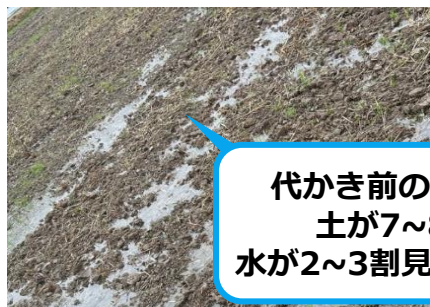
※「なつほのか」の栽培では**水管理が重要**です。今後の「生育と管理」で詳しくお伝えする予定です。ご質問があれば、**振興局までご連絡**ください。

### ◆ 代かきは浅水がおすすめ

代かきは、田んぼの土を細かく砕き泥状にし、田面を平に整える作業です。これにより、土が柔らかくなり、苗の定着も促進されます。上手な代かきのポイントは、**浅く水を張る**ことです。

#### 【浅水代かきのメリット】

- 節水
- 稲わらや草を土中に埋め込むことが可能
- 田面が確認しやすく均平が取りやすい
- 肥料が流出しにくい



代かき前の入水量  
土が7～8割  
水が2～3割見える状態

※今年度は冬期の降雨が少なく、用水不足が心配されます。

**浅水代かきにより節水を心がけましょう！**